

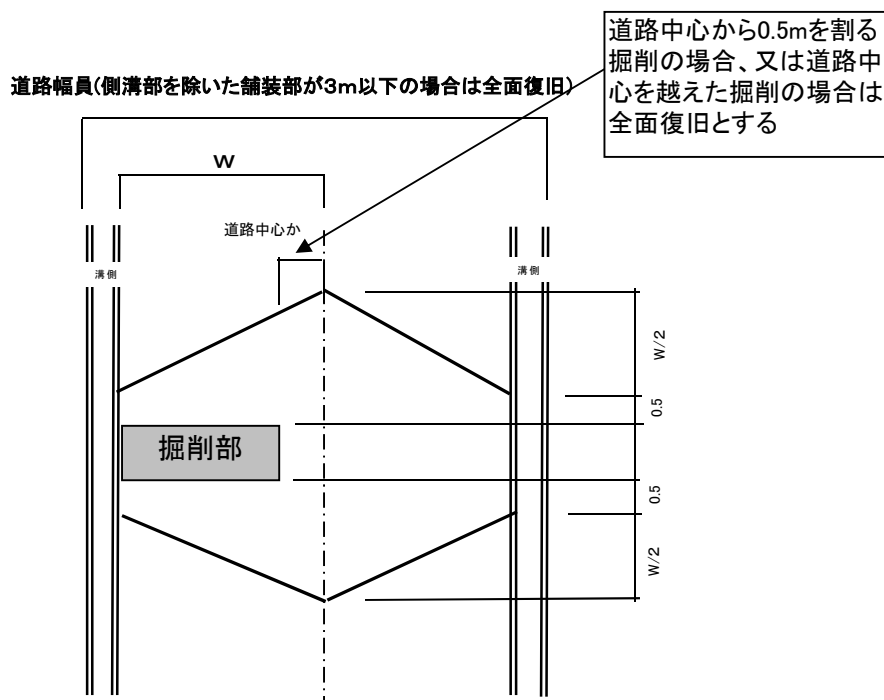
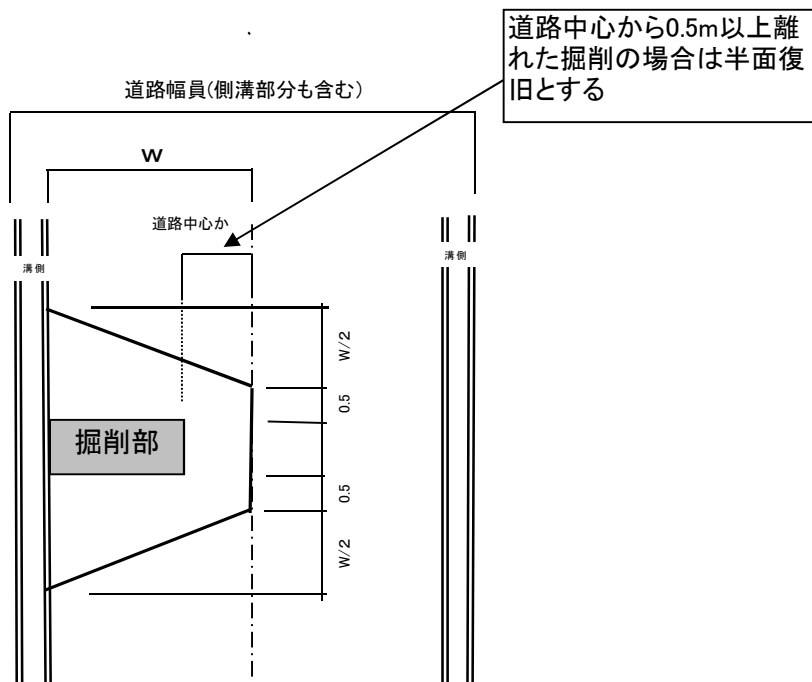
宮代町道路占用工事等における道路舗装・路盤復旧基準

1 道路舗装復旧基準について

道路舗装の復旧については原則、次のとおりとする。

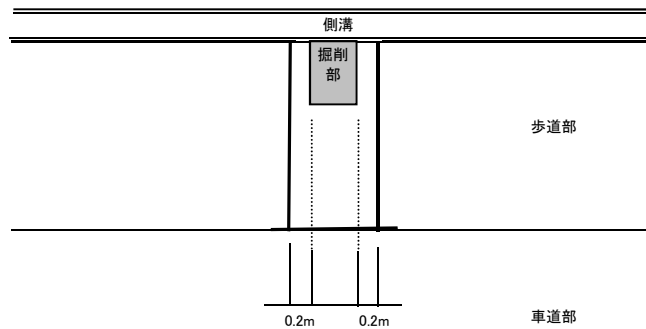
- 仮復旧期間(自然転圧)は3ヶ月以上とする。
 - 舗装幅員3m以下は全面復旧とする。
 - 舗装後3年を経ない道路の復旧については全面復旧とする。
 - 他、基準として次の図に示したとおりとする。
- ※この基準は生活道路を対象とした基準である。

(1) 車道

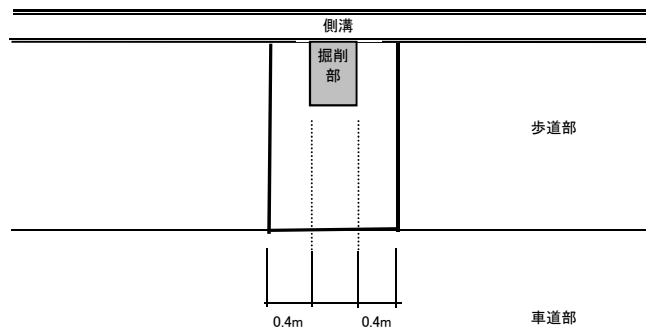


(2) 歩道

<一般部>



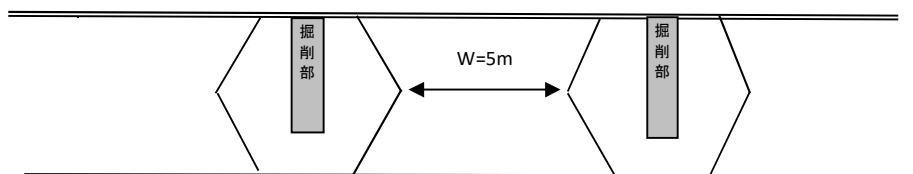
<車両乗り入れ部>



(3) その他

申請地の隣接地に本復旧した箇所があった場合は次のとおりとする。

■復旧すべき部分の施工予定端から他の占用工事が施工されている部分までの距離が5m 以内の距離であった場合、申請者はその旨報告し、町の指導を受けること。
(基本的には一体的に本復旧すること。ただし、既設の本復旧部分については、改めて本復旧しないことも可とする。)



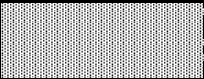
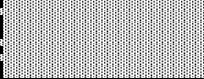
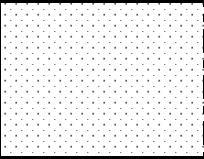
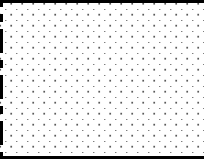
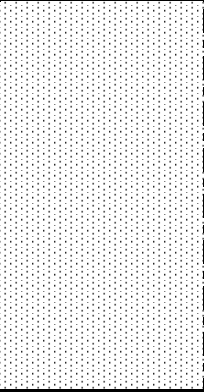
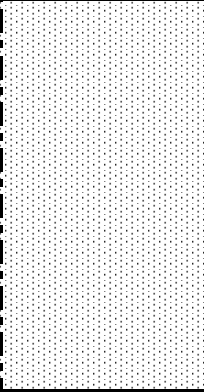
その他注意事項

■仮復旧、本復旧時には占用者マーク(G、W、E、D等)をマーキングすること。

2 道路路盤組成基準について

(1) 車道

一般町道組成

	厚さ	本復旧	仮復旧	厚さ
再生密粒AS(13-50)	50			30
再生粒調碎石RM40 (粒調碎石M30)	100			120
再生切込碎石φ40~0 (切込碎石C40~0)	200			200
				

山砂・再生砂・良質砂質土



表層工

材料は基本的に再生密粒度AS(13-50)とするが、再生材が確保できない場合は新材を用いても構わない。



上層路盤

材料は再生粒度調整碎石RM40、もしくは粒調碎石M30とする。



下層路盤

材料は再生切込碎石RC40~0、もしくは切込碎石C40~0とする。



路床部

埋め戻しは、山砂、再生砂または良質砂質土とする。

※上記基準は、標準的なものであり、場所により組成等の基準値が異なる道路があります。
その場合は、現場の道路組成で工事を施工すること。

(2) 歩道

①一般部

(単位:cm)

種類	表層		モルタル	路盤	砂層	合計厚	仮復旧の 舗装厚
	アスファルト 混合物	平板、ブ ロック等		再生切込 碎石			
アスファルト舗装	3	－	－	10	－	13	3
透水性舗装	4	－	－	10	10	24	3
コンクリート(カラー) 平板舗装	－	6	3	10	－	19	3
インターロッキング ブロック舗装	－	6	3	10	－	19	3

②車両乗り入れ部

1)アスファルト舗装

(単位:cm)

車種別区分	アスファルト厚	路盤厚	合計厚
乗用、小型貨物自動車等(2t程度)	5	25	30
普通貨物、大型貨物自動車等(6.5t以下)	10(5+5)	25	35
大型貨物自動車(6.5tを超えるもの)	15(5+10)	30	45

※セミトレーラー連結車等、これによりがたい場合は別途検討すること。

2)コンクリート(カラー)平板舗装

(単位:cm)

車種別区分	ブロック厚	モルタル厚	上層路盤	下層路盤	合計厚
乗用、小型貨物自動車等(2t程度)	6	3	10	15	34
普通貨物、大型貨物自動車等(6.5t以下)	6	3	15	25	49
大型貨物自動車(6.5tを超えるもの)	6	3	30	30	69

※セミトレーラー連結車等、これによりがたい場合は別途検討すること。

3)インターロッキングブロック舗装

(単位:cm)

車種別区分	ブロック厚	モルタル厚	上層路盤	下層路盤	合計厚
乗用、小型貨物自動車等(2t程度)	8	3	10	15	36
普通貨物、大型貨物自動車等(6.5t以下)	8	3	15	25	51
大型貨物自動車(6.5tを超えるもの)	8	3	30	30	71

※セミトレーラー連結車等、これによりがたい場合は別途検討すること。